

# ネットワークプログラミング 1

## OSI参照モデルとTCP/IP階層モデル

- OSI参照モデルとは何かを確認・調査してください。
- TCP/IP階層モデルは、どのような構成になっているか確認・調査してください。
- OSI参照モデルとTCP/IP階層モデルの関係を確認・調査してください。

<https://www.itmanage.co.jp/column/osi-reference-model/>

OSI 参照モデル	TCP/IP	プロトコル					コンピュータ上の処理
7 層 アプリケーション層	4 層 アプリケーション層	HTTPS	SMTP	POP3	FTP	....	通信アプリケーション プログラム
6 層 プレゼンテーション層							
5 層 セッション層							
4 層 トランスポート層	3 層 トランスポート層	TCP		UDP		OS	
3 層 ネットワーク層	2 層 インターネット層	IP					ICMP
2 層 データリンク層	1 層 ネットワーク インターフェイス層	ARP      RARP		PPP	....		
1 層 物理層		Ethernet					
							デバイス、ドライバ、NIC

### 簡単な説明

<https://thinkit.co.jp/article/20787>

# TCP/IPの仕様書

## RFC(Request For Comments)とは？

- IETFで議論された内容が標準化されRFCというドキュメントになり、公開される

<https://www.rfc-editor.org/rfc/>

ここに、すべてのRFCが公開されている。

- RFCにはすべて番号が付けられている。
  - IPに関する仕様：RFC791 <https://www.rfc-editor.org/rfc/rfc791.txt>
    - STD5
  - UDPに関する仕様：RFC768 <https://www.rfc-editor.org/rfc/rfc768.txt>
    - STD6
  - TCPに関する仕様：RFC793 <https://www.rfc-editor.org/rfc/rfc793.txt>
    - STD7

## IPv4ヘッダ

### RFC791より

#### 3.1. Internet Header Format

A summary of the contents of the internet header follows:

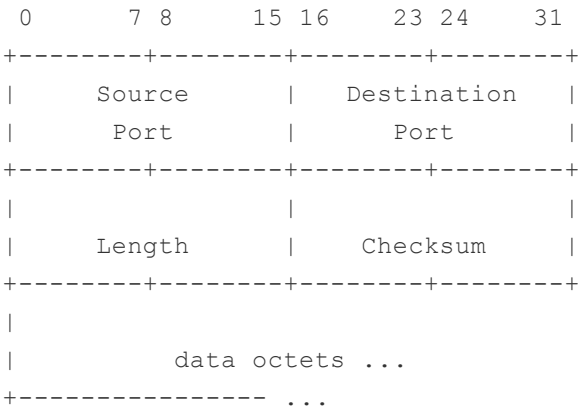
0	1	2	3
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1			
+-----+			
Version			
IHL			
Type of Service			
Total Length			
Identification			
Flags			
Fragment Offset			
Time to Live			
Protocol			
Header Checksum			
Source Address			
Destination Address			
Options			
Padding			

## UDPヘッダ

### RFC768より

Format

-----

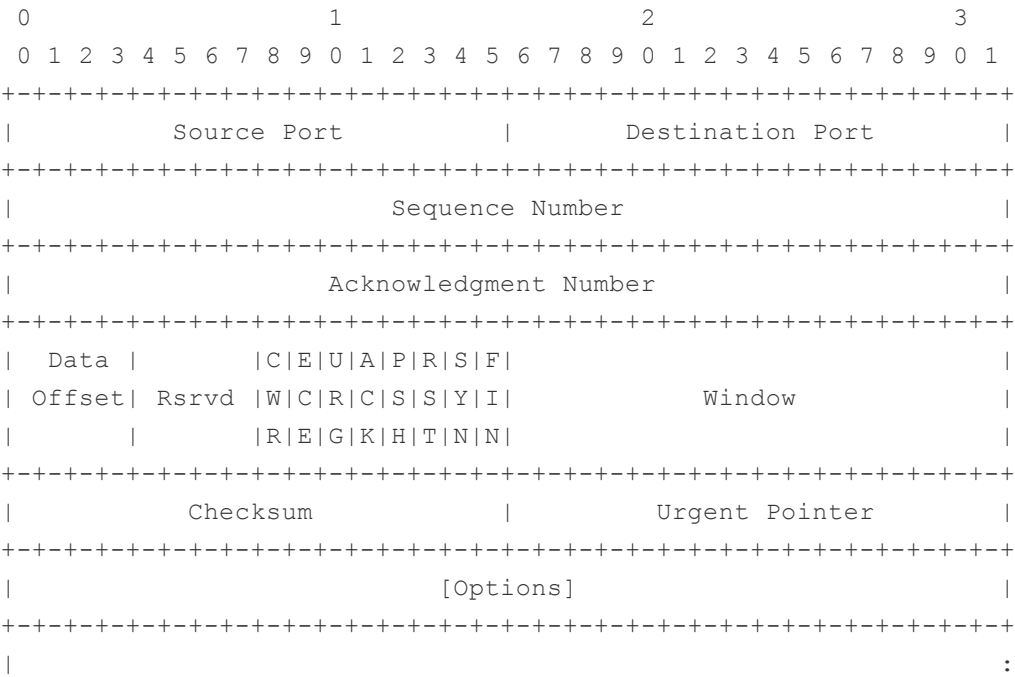


User Datagram Header Format

## TCPヘッダ

### RFC793より

A TCP header, followed by any user data in the segment, is formatted as follows, using the style from [66]:



```

:                                     Data                                     :
:                                     |                                     :
+---+---+---+---+---+---+---+---+---+---+---+---+---+---+---+---+---+

```

Note that one tick mark represents one bit position.

- 各フィールドの働き、意味は、RFCもしくは解説ドキュメントをよく読み理解する必要がある。

- お薦め本



- マスタリングTCP/IP—入門編— オーム社
  - 井上 直也, 村山 公保, 竹下 隆史, 荒井 透, 荻田 幸雄

## ソケット通信

- 上記のパケットを自前で構築し、送受信を行うのは、理解していれば難しくはないが面倒。(raw socketという)

- 例としていくつか紹介する。

[Wikipedia - Raw socket](#)

<https://www.geekpage.jp/programming/linux-network/simple-ping.php>

<https://53ningen.com/ping-impl1>

- そこで、socket APIを使用して、送受信を行う（標準socket通信という）

- 。送信するペイロードは選択したトランスポート層のプロトコル（例: TCP、UDP）によってカプセル化される。

- socket通信の流れを、まずはPython版で理解してみよう

<https://envader.plus/article/27>

#### 【server\_tcp.py】

```
import socket

# socket.socket(): ソケットオブジェクトの作成
# AF_INET: アドレスファミリー（使うアドレスの種類がまとめられたもの）のうち、IPv4を指定する
# SOCK_STREAM: TCPプロトコルを指定
s = socket.socket(socket.AF_INET, socket.SOCK_STREAM)

# socket.bind(): IPアドレスとポート番号を作成したソケットオブジェクトに紐づける
# 127.0.0.1: ローカルホストを指定する
# 60001: ポート番号のうち60001を指定する（待ち受けポート）
s.bind(('127.0.0.1', 60001))

# socket.listen(): クライアントからの入力待ち状態になる
# 1: 並列的に処理できるリクエスト数を1つに指定する
s.listen(1)

count = 0
while count < 5:
    # socket.accept(): クライアントからの接続を受け付ける
    # conn: 新しく作成したソケットオブジェクト
    # addr: 受信したIPアドレス
    conn, addr = s.accept()

    # サーバの標準出力に文字列を出す
    # addr: (クライアントのIPアドレス, クライアントのポート番号)
    print(f'Source IP Address: {addr}')

    # クライアントのソケットにデータを送信する
    conn.send(b'Hello World!')

    # クライアントのソケットオブジェクトを削除する
    conn.close()
    count += 1

# サーバのソケットを削除する
s.close()
```

## server版

- 上記Python版をCで書き換えた例です。
  - クライアント版（後述）と一緒に使用しないと動作検証できません。

```
// 【図解あり】ソケット通信の仕組みについてわかりやすく解説 (python)
// https://envader.plus/article/27
#include <netinet/in.h>
#include <stdio.h>
#include <stdlib.h>
#include <string.h>
#include <sys/socket.h>

// 追加
// inet_ntoa() / inet_addr() は arpa/inet.h
#include <arpa/inet.h>

// close()
#include <unistd.h>

#define SERVER_ADDR "127.0.0.1"
#define SERVER_PORT 60001
#define BUF_SIZE 4096

int main(int argc, char const *argv[]) {
    // ソケットオブジェクトの作成
    int sockfd = socket(AF_INET, SOCK_STREAM, 0);
    if (sockfd < 0) {
        perror("socket");
        exit(1);
    }

    // IPアドレスとポート番号を作成したソケットオブジェクトに紐づける
    struct sockaddr_in addr;
    memset(&addr, 0, sizeof(addr));
    addr.sin_family = AF_INET;
    addr.sin_port = htons(SERVER_PORT);
    addr.sin_addr.s_addr = inet_addr(SERVER_ADDR);
    if (bind(sockfd, (struct sockaddr *)&addr, sizeof(addr)) < 0) {
        perror("bind");
        exit(1);
    }

    // クライアントからの入力待ち状態になる
    if (listen(sockfd, 1) < 0) {
        perror("listen");
        exit(1);
    }
}
```

```

int count = 0;
while (count < 5) {

    // クライアントからの接続を受け付ける
    int connfd;
    struct sockaddr_in client_addr;
    socklen_t client_addr_len = sizeof(client_addr);
    if ((connfd = accept(sockfd, (struct sockaddr *)&client_addr, &client_addr_len))
< 0) {
        perror("accept");
        exit(1);
    }

    // サーバの標準出力に文字列を出す
    char buffer[BUF_SIZE];
    snprintf(buffer, sizeof(buffer), "Source IP Address: %s",
inet_ntoa(client_addr.sin_addr));
    printf("%s\n", buffer);

    // クライアントのソケットにデータを送信する
    char message[] = "Hello World!";
    send(connfd, message, strlen(message), 0);

    // クライアントのソケットオブジェクトを削除する
    close(connfd);
    count++;
}
// サーバのソケットを削除する
close(sockfd);

return 0;
}

```

- 見慣れない関数は、調べて使い方を確認してください。

- これまでに説明していないものを上げておきます。

関数名	引数や戻り値	働き・仕様など詳細
<code>socket( )</code>		
<code>perror( )</code>		
<code>memset( )</code>		
<code>htons( )</code>		
<code>inet_addr( )</code>		
<code>bind( )</code>		
<code>listen( )</code>		
<code>accept( )</code>		
<code>snprintf( )</code>		
<code>inet_ntoa( )</code>		
<code>send( )</code>		



- 構造体に関して調べてください

構造体	メンバ変数	値など備考
<pre>struct sockaddr_in</pre>		

- 使用しているヘッダファイルについて調べてまとめてください。

header file	主に利用される目的・定義・関数など
<pre>netinet/in.h</pre>	
<pre>sys/socket.h</pre>	
<pre>arpa/inet.h</pre>	
<pre>unistd.h</pre>	

- これらのファイルは、各マシンの以下のフォルダに保存されている。確認してください。

- ```
/usr/include/
```

## headerファイル内の定義

- C言語で、よく使用される記述

- ```
#define
```

  - 単なる置換
  - マクロ

- `#include <hoge.h>`
- `#if` ～ `#endif`
- `#ifdef`
- `#ifndef`
- `enum`
- それぞれが、どのように働くのか、調べてください。
  - プリプロセッサの働き

## headerファイルを読み解く

- 上記、`struct socket_in` は、`/usr/include/netinet/in.h` に記述されている。
  - 実際に確認してみよう
  - include 以下を コピーするか、直接 vscodeで開き確認する。
    - vscodeでは、ソースファイルから順に辿れるようになっている。(右クリックメニュー)



- 244行目あたりに記載されている

```

/* Structure describing an Internet socket address.  */
struct sockaddr_in
{
    __SOCKADDR_COMMON (sin_);
    in_port_t sin_port;      /* Port number.  */
    struct in_addr sin_addr;  /* Internet address.  */

    /* Pad to size of `struct sockaddr'.  */
    unsigned char sin_zero[sizeof (struct sockaddr)
        - __SOCKADDR_COMMON_SIZE
        - sizeof (in_port_t)
        - sizeof (struct in_addr)];
};

```

- `__SOCKADDR_COMMON (sin_);`

- マクロの呼び出し

- `/usr/include/x86_64-linux-gnu/bits/socket.h` (34行目) に定義されている

```

#define __SOCKADDR_COMMON(sa_prefix) \
    sa_family_t sa_prefix##family

```

- この部分は以下のようになる

```

sa_family_t sin_family

```

- `sa_family_t` 型とは何か？ 同ファイル (27行目) に定義されている

```

/* POSIX.1g specifies this type name for the `sa_family' member.  */
typedef unsigned short int sa_family_t;

```

- 最終的には、次のようになる

```

__SOCKADDR_COMMON (sin_);
↓
unsigned short int sin_family;

```

- `in_port_t sin_port`

- `in_port_t` 型とは？ `in.h` (122行目) に定義がある

```

/* Type to represent a port.  */
typedef uint16_t in_port_t;

```

- `uint16_t` 型とは？ `/usr/include/x86_64-linux-gnu/bits/stdint-uintn.h` (25行目)

```
typedef __uint16_t uint16_t;
```

- `__uint16_t`; 型とは? `/usr/include/x86_64-linux-gnu/bits/types.h` (40行目)

```
typedef unsigned short int __uint16_t;
```

- 最終的には、次のようになる

```
in_port_t sin_port;  
↓  
unsigned short int sin_port;
```

- これを繰り返し確認していく

```
/* Structure describing an Internet socket address. */  
struct sockaddr_in  
{  
    unsigned short int sin_family;  
    unsigned short int sin_port;      /* Port number. */  
    :  
};
```

↓

- 一般的には以下のように考える

```
struct sockaddr_in {  
    sa_family_t sin_family;  
    in_port_t sin_port;  
    struct in_addr sin_addr;  
    char sin_zero[8];  
};
```

- `sin_family` フィールドは、アドレスファミリを表す。IPv4 の場合は `AF_INET` が使用さる
- `sin_port` フィールドは、ポート番号を表す。
- `sin_addr` フィールドは、IP アドレスを表す。
- `sin_zero` フィールドは、未使用。

# ソケット通信2

- socket通信の流れを、Python版で理解してみよう

<https://envader.plus/article/27>

【client\_tcp.py】

```
import socket

# ホストのソケットオブジェクトの作成
s = socket.socket(socket.AF_INET, socket.SOCK_STREAM)

# サーバにリクエストを送る
# 127.0.0.1: サーバのIPアドレス
# 60001: サーバが待ち受けするポートを指定する
s.connect(('127.0.0.1', 60001))

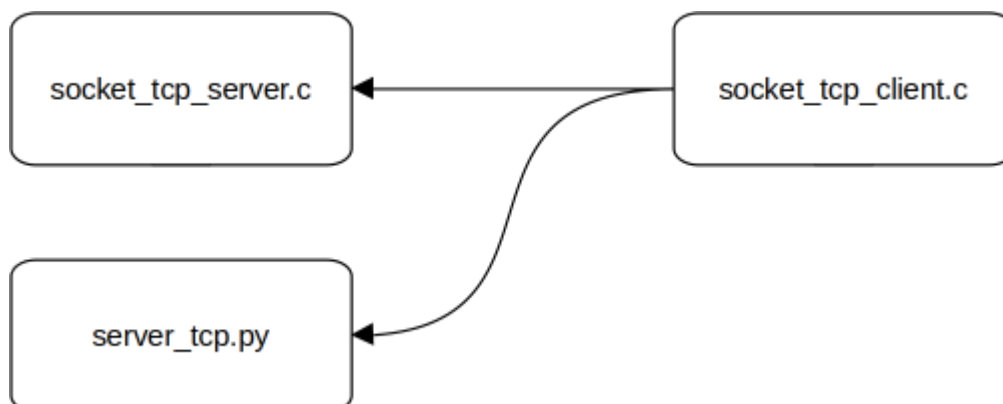
# サーバからデータを受信する
data = s.recv(4096)

# クライアントの標準出力に受信したデータを表示する
print(data)

# クライアントのソケットを削除する
s.close()
```

## client版

- 前回のServer版を参考に、Client（C版）を作成してください。
  - 前回作成した `socket_tcp_server.c` および `server_tcp.py` と通信ができるのを確認してください。



## 調査事項

- python版client ( `tcp_client.py` ) を使用した場合、出力が次のようになる。

```
$ python3 client_tcp.py  
b'Hello World!'
```

- この `b'Hello World!'` とは何を意味しているか？